



議会だより

発行 片品村議会

No. 132

2012. 5. 24

# かたしな



片品小学校を巣立つ卒業生（3月13日、片小体育館）

## 主な内容

- 平成24年度一般会計・特別会計の予算及び平成23年度補正 … 2～3  
条例改正、議員発議、2名が一般質問、委員会の審査 …… 4～8  
議会傍聴、一問一答方式導入及び議会活動 …………… 9～10

# 平成24年度 片品村 予算案可決

3月の定例議会において、平成24年度の一般会計及び特別会計の予算を可決

一般会計予算のうち自主財源比率は、29.7%で、地方交付税等の依存財源比率は、70.3%です。

特別会計は、前年度比101.2%ですが、一般会計から全体の25%を繰り入れています。



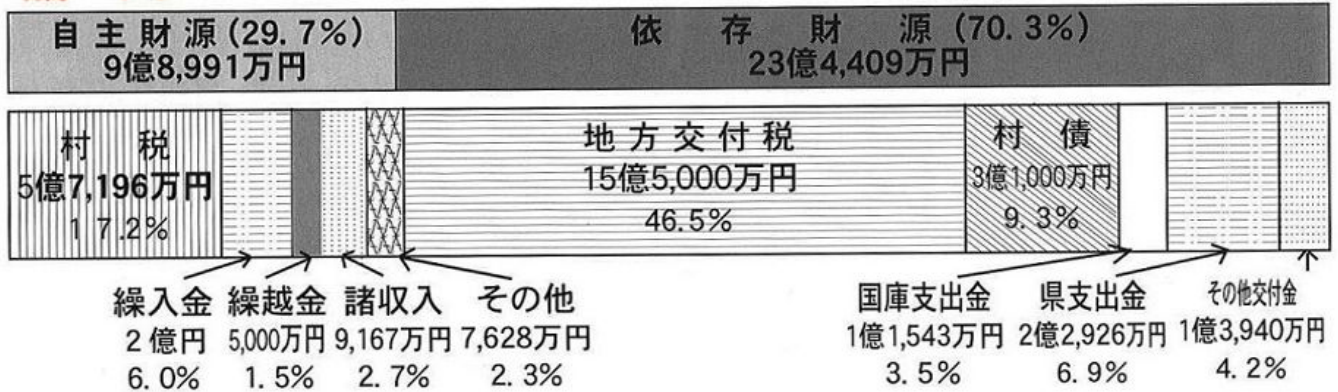
禹王サミットを迎える禹王の碑

## 平成24年度 片品村一般会計

# 33億3400万円

前年対比  
102.9%

### 歳入



### 歳出



### 《平成24年度予算の主な事業》

- ・子どものための手当て
- ・不妊治療費補助金制度
- ・村中心地区情報発信ターミナル整備事業
- ・かたしな子ども学校事業
- ・地域防災計画の見直し
- ・橋梁長寿命化計画の策定
- ・全国名水サミットin尾瀬片品
- ・全国禹王まつり禹王サミット
- ・緊急雇用創出基金事業

## 24年度特別会計

単位：千円

会計名	予算額	一般会計繰入金	前年対比	備考
国民健康保険	863,708	117,590	101.7%	
簡易水道事業	89,500	8,869	111.9%	
観光施設事業	116,290	112,000	96.7%	収益的収入のみ
介護保険	414,018	59,235	102.2%	
下水道事業等	111,505	90,235	87.3%	
後期高齢者医療	57,156	23,597	115.5%	
合計	1,652,177	411,526	101.2%	

前年対比  
101.2%

## 平成23年度 補正予算

単位：千円

会計名	補正額	補正後
一般会計	△ 25,641	3,697,284
国民健康保険	1,175	870,733
簡易水道事業	△ 1,973	82,842
観光施設事業	(収益的収入) 7,515	127,724
	(収益的支出) 8,206	127,724
介護保険	12,813	428,003
下水道事業等	△ 6,980	122,120
後期高齢者医療	△ 936	48,778



廃車処分される圧雪車

※ 一般会計に災害救助費として1億7,567万円の県負担金があった。学校建設基金1億円、財政調整基金に1,400万円それぞれ積み立てた。

※ 観光施設事業特別会計の収益的収入補正額は、一般会計からの補助金15,616円の増額と施設使用料8,101千円の減額による。

収益的支出は、オグナほたか水道施設の修繕と圧雪車の廃棄処分費用

## 繰越明許費

単位：千円

小水力発電調査委託事業	1,500
村道半瀬・下小川線測量設計業務委託事業	4,620
村道6042号線舗装維持修繕事業	22,365
塗川橋詳細設計委託事業	22,050
村道越本・花咲線施工管理業務委託事業	7,470
村道越本・花咲線災害復旧事業	31,390



村道越本・花咲線の災害現場

※ 前年度予算を用途と金額を明らかにして24年度へ繰り越す費用です。

条例の一部改正

◎片品村税条例の一部を改正

経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るため及び東日本大震災からの復興に因し、地方公共団体が実施する防災のための施策に必要な財源の確保に係る地方税臨時条例の公布に伴い条例の一部を改正する。  
〔全員賛成〕

◎片品村廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正

一般廃棄物のし尿処理業務が利根東部衛生施設組合から村に移管することにより、発生する処理手数料等を定めるため条例の一部を改正する。  
〔全員賛成〕

◎片品村介護保険条例の一部を改正

介護保険給付費が年々増加しており、平成24年度から平成26年度の第5期計画においても

増加することが予想され、また平成24年度の介護報酬改定でも増額の改定が行われる。財源の確保が厳しく介護保険料の引き上げを余儀なくされることから、介護保険料の引き上げをお願いするための改正。  
〔全員賛成〕

◎片品村農漁業災害対策特別措置条例の一部を改正

台風や地震などの自然災害により被害を受けた農業者に対する助成について、対象となる災害の基準を緩和すること、助成措置の内容を表現を具体的にすることによる条例の改正。  
〔全員賛成〕

台風の被害に遭った農業者に対する助成について、対象となる災害の基準を緩和すること、助成措置の内容を表現を具体的にすることによる条例の改正。  
〔全員賛成〕

◎片品村小口資金融資促進条例の一部を改正

借換制度を期間限定で使用できるようにし、更に融資期間を最長3年間延長することを可能とするもので、村内中小企業の振興を図るため条例の一部を改正する。  
〔全員賛成〕

◎片品村村営住宅管理条例の一部を改正

地域主権改革推進一括法の成立により公営住宅法の一部が改正となり、これを受け条例を改正し、公営住宅法で定められていた入居基準について定める。  
〔全員賛成〕

◎特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正

スポーツ基本法が成立したことに伴い、体育指導員の名称をスポーツ推進委員に改める。  
〔全員賛成〕

指定管理者の指定

◎老人憩いの家は、第4区に管理をお願いしてきたが、引き続き平成24年度も第4区に指定管理者の指定をお願いする。期間は平成24年4月1日から平成25年3月31日の1年間とする。  
〔全員賛成〕

◎尾瀬ロッジは、現在の指定管理者であるアリス工業株式会社が引き続き管理することが

望ましいと考え、指定をお願いする。期間は平成24年4月1日から平成29年3月31日の5年間とする。  
〔全員賛成〕

片品村過疎地域自立促進計画の変更に ついて

過疎債などの優遇措置を受けるため、既存の計画に福祉医療費支給を新たに盛り込む必要が生じ、過疎地域特別措置法により計画変更についての議会の議決をお願いする。  
〔全員賛成〕



尾瀬 ロッジ

人事

人権擁護委員に引き続き入澤眞理子氏を候補者に推薦  
〔議会推薦〕

請願審議結果一覧表

3月定例会において審議された請願は、下記のとおり決定しました。

受理年月日	件名	請願者	紹介議員	付託委員会	審議結果
平成24年 3月8日	住宅リフォーム助成制度創設を求める請願書	・沼田民主商工会 会長 千明 博 ・群馬県木造住宅産業協会 利根沼田支部 支部長 徳江 司郎ほか	星野 逸雄 星野 精一	観光産業 常任委員会	採択

	議員発議	ワンポイント解説
議員報酬	<p>●議員報酬額の維持・継続</p> <p>「議員報酬の特例に関する条例」期間満了により、平成24年5月1日か25年4月30日まで再度延長するための提案。</p> <p style="text-align: right;">【全員賛成】</p>	<p>時限立法で議員報酬を1割削減する「議員報酬の特例に関する条例」は、平成22年9月議会定例会で制定し、平成22年10月1日から平成23年4月29日までの期間実施した。</p> <p>平成23年5月議会定例会において、平成23年4月30日から24年4月30日まで延長したが期間が満了となるため。</p>
議会広報委員会	<p>●議会広報編集特別委員会の設置</p> <p>[目的] 議会活動に関して必要な事項を周知し、村民の議会及び村政に対する理解と協力を得るため、片品村議会の広報誌を発行する。</p> <p>任期は1年、定数は7名。</p> <p>特別委員会の構成は、◎戸丸廣安、○飯塚美明、入澤登喜夫、星野千里、星野精一、梅澤志洋、星野栄二に決まる。</p> <p>(◎：委員長、○副委員長) 【全員賛成】</p>	<p>今までの議会だよりの作成は、議会だよりの編集委員会が行ってきた。</p> <p>議会における法的に認められた委員会は、常任委員会、議会運営委員会、特別委員会の3種類だけであるため、「議会広報編集特別委員会」を設置した。</p>
医療費助成制度	<p>●医療費助成制度の現物給付に伴う国庫負担金削減措置の廃止を求める意見書の提出</p> <p>提出先：衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、厚生労働大臣、内閣官房長官。</p> <p style="text-align: right;">【全員賛成】</p> <p>●医療費助成制度の現物給付に伴う国庫負担金削減措置の廃止を求める要望書の提出</p> <p>提出先：県選出の国会議員 【全員賛成】</p>	<p>群馬県では平成22年10月以降、県と市町村とが連携して中学卒業までの子ども医療費無料化を実施。</p> <p>しかし、国は現物給付を導入している自治体に対して、国民健康保険の国庫負担金の減額措置を講じており、直ちにこの措置を廃止するよう強く要望するためのもの。</p> <p>片品村に対する平成22年度の国庫負担金及び県調整交付金の削減額は、約400万円となっている。</p>



議員だよりのバックナンバー

# で村政を問う！



星野 育雄議員

**問** 片品村立学校のあり方検討委員会の答申に対し、その実現に向けて推進するののか。

**答** 村長

答申を受け、現在、教育委員会で検討を進めていますので、頂いた答申を尊重して推進していきます。

**問** 村民の意見を聞き合意を得るために、アンケート調査、地区別懇談会、説明会等をする必要があると思うが。



統合が答申された片品の小学校

**Q** あり方検討委の答申を推進するののか？  
**A** 答申を尊重して推進していく

**答** 村長

現在、教育委員会で検討中であり、必要と認められれば実施される。

第3次片品村総合計画後期基本計画を策定する際に、1200人よりアンケートを取っており95%以上が小学校を統合してほしいという結果が出ています。

**問** 各小学校は約140年の歴史があり各地域社会の核となっています。小学校の統合は村民全体の課題ですから、地区懇談会や説明会等を開催して村の計画を説明し、村民の合意を得てからやった方がいいのではないかと考えていきたい。

**答** 村長

アンケートあるいは地区別懇談会については、現在教育委員会で検討中であり出た方向によって考えていきたい。

**問** 統合するには、生徒の安全な通学を確保するために、スクールバス等で小中学生を送迎する必要があるが。

**答** 村長

スクールバスの必要性はあると思っておりますが、具体的な方法は教育委員会で検討しています。

**問** スクールバス等の村内を運行する計画に老人等の交通弱者も福祉バスとして、このスクールバス等を利用できるようにすべきだと思いが。

**答** 村長

スクールバス等の必要性については、教育委員会で検討しています。

**問** 片品小学校西校舎は、早急に耐震補強大規模改修をする必要があると思いが。

**Q** 学校統合ならスクールバスが必要だが？  
**A** 必要性はあるので、教育委員会が検討中

**答** 村長

耐震基準を満たしていない建物は、補強等が必要であると考えています。

**問** 小学校の統合の実施時期は、いつ頃を予定しているか。

**答** 村長

小学校の統合の実施時期については、現在、教育委員会で検討しています。

**問** 中学校の建て替えと一緒に小学校も同じ敷地に新築したほうがよいと思うが。

**答** 村長

現在、教育委員会で検討しています。

**問** 答申を尊重して推進していく中学校の敷地は広く、生徒数が減少している現在、建て替える校舎は今より小規模にすれば、小学校も同一敷地に建設するスペースはある。同じ敷地に小中学校があれば、小中一貫教育がしやすく教育効果も高まり、スクールバス運行と利用

もしやすくなるので、検討してほしい。  
統合後の武尊根・南・北小学校の廃校利用計画は、どのように考えているか。

**答** 村長

教育委員会での検討を踏まえて、地元の人たちの意見を尊重しながら計画をしていく。

**意見** 廃校を利用して尾瀬の郷構想にあります道の駅（仮称）尾瀬の郷駅や公設民営の特別老人ホーム、更に企業誘致等も含めて教育委員会のほうで検討をお願いしたい。

## 片品村立学校のあり方検討委員会の答申

- ① 小学校は片品小学校に早急な統合をすべきである。
- ② 中学校は早期の建て替えをすべきである。
- ③ 片品の特色ある教育の充実を望む。

# 一般質問(2人)



星野 精一議員

**問** 放射能への村の対応について、食の不安から給食を拒否する親が各地で出ているとのメディア報道があるが、国から給食への指示やガイドラインが届いているか。

**答** 教育長

給食に限定したガイドラインは来ておりません。

**問** 村独自の給食の安全対策を行っているか。

**答** 教育長

2月7日に村独自の放射性物質の計測器を購入して、提供している給食について放射性物質の検査を行っています。村独自の安全対策は、具体的なガイドラインはありませんが、日々提供する食材の放射性物質を測ることで独自の安全対策と考えています。

**問** 給食の検体は毎日か週に一回のペースかを聞きたい。

**Q** 村独自の給食の安全対策は？  
**A** 食材の放射性物質を日々測ることです



議員たちが片中玄関先で放射線量を検査

**答** 教育長  
給食のある日は毎日計測しています。

**問** 保育所を含む学校の除染に対して、国から除染に対してノウハウやガイドラインが届いているか。

**答** 教育長

所管課でないので、所管課からしていただきませ

**答** 保健福祉課長

環境省では、平成23年12月に除染関係のガイドラインを策定しました。ガイドラインによると、保育所の園庭等の放射線測定は、測定点から50cmの高さで測定し、一施設5点程度を目安として空間線量率が毎時0.23マイクログシーベルト以下なら保健福祉課は除染を原則行わないとしています。

**問** 村独自でその対策を行っているか。

**答** 保健福祉課長

本村では、農林建設課で公共施設の放射線量を測定していて保育所関係では、特に問題ありません。

今後も継続した測定をして保護者に安心していただけるよう状況をみながら対処していきます。



戸倉の放射線量モニタリングポスト

**問** 本村の窓口は農林建設課だが、村民の健康を考えて保健福祉課に窓口を設けて、学校給食までの情報を集約させたほうが良い対応が出来ると思うか。

**答** 村長

正しい知識を持って住民の相談に応じることがベストと考え、必要であることは十分認識しつつも、現時点では食品や空中放射線の測定を随時行い、生活の安全を確保するよう考えています。

**答** 村長

村民の方が安心して生活していたくために、必要であれば専門家を招いて対処するのが正しいと考えています。

**Q** 関係者による勉強会をすべきでは？  
**A** 専門家の招へいを考えている

# 委員が慎重に 審査しました！

## 観光産業常任委員会

- 一、請願
- 「住宅リフォーム助成制度を求める請願」審議結果「採択」
- 二、平成24年度当初予算
- 平成23年度の災害関係
- 水道は新年度予算で対応したい。
  - 土木は23年度発注、工事は明許繰越をして24年度で工事着工。
  - 農業は年度内に処理を進めたい。
  - （県単事業）花咲大沢の砂防は、予算範囲内で着工中。

- 橋梁の整備計画について
- 橋梁点検が23年度で終了、結果報告が村にあった。それを元に、24年度当初に予算計上し、計画を立てる予定(村内22橋が対象)。
- 〔仮称〕尾瀬の郷駅〕を中心とした雇用創造就業
- 総合計画のシンボルプロジェクトとして位置づけ、若者中心に雇用を生んでゆく。
  - 拠点整備は花の谷公園・役場前・観光協会周辺・寄居山温泉周辺。
  - 120万人の入込み客増加をめざした情報発信の場とする。

- 県千客万来支援事業費を活用(500万円内定)。概算事業費が2165万円。
- 問 トマトのパイプハウスの補助が1150万円であるが、補助率は
- 答 県補助が30%から33%へ。村補助10%。個人負担が57%に。
- 問 尾瀬の郷駅構想や農協観光を受けるにあたって、むらづくり観光課・観光協会・振興公社の役割分担の明確化を
- 答 明確にする必要性がある。
- 問 課長の統括部長就任は必要か
- 答 観光振興関係で、村と目的や仕事を共有している部分

- の調整をする役割のため。
- 平成24年度の緊急雇用について
- 総額6200万円弱が県から来るので、34人を雇用する。
  - 三、平成23年補正予算
  - 問 県が決めた小水力発電の推進補助を使うのか
  - 答 県補助があれば申請したい。
  - 四、所管事務
  - 問 (雇用確保が望まれる)六次産業に本気で取り組みを
  - 答 議会で通れば、住民説明会や広報で呼びかけたい。

## 総務文教常任委員会

### 協議事項

- 一、平成24年度当初予算
- 問 東日本大震災を教訓に地域防災計画を見直すのか
- 答 村の地域防災計画を見直して新しい地域防災計画を作ります。
- 問 クロスカントリーコース整備工事で2500万円とあるが、内容を聞きたい
- 答 コースの拡幅や段差の修復、測量設計関係が主です。
- 問 し尿処理で大口の汲み取りを行った時は、どこに

- ストックしておくのか
- 答 花咲の集落排水施設を使用しています。
- 二、平成23年補正予算
- 問 3種類のワクチン接種費がマイナス補正になっていく理由は
- 答 接種率が伸びなかった。
- 問 中学校の定期券購入費の補助金減額は、申請がなかったということが
- 答 15名程度の申請しかなかったからです。
- 三、所管事務
- 問 片品村立学校のあり方

- 検討委員会の答申を受けての対応策と進捗状況は
- 答 好ましい教育環境がどういうものかを自由に出し合っていて頂いている状況です。
- 問 スクールバスの運行の必要性があると思っ、進んでいますか
- 答 スクールバスも協議・論議の対象には入っています。
- 問 学校建設は、投資額が大きくて、何年も先の話になると思うが
- 答 視察した新治小学校が15億円、みなかみ中学校が15億円、議員視察の下仁田小学校

- が12億円。一般的には設計に一年、建設に2年かかる。
- 問 全中のアルペン競技コースは
- 答 アルペン競技会場は、スキー場連絡協議会と協議中で、最終的な確定はできていません。クロカン常設コースは花咲を想定していたが、保安林解除手続きを詰めなければならず、現在作業が具体的に進んでいない。
- 問 県からの(被災地)がれき処理協力要請は来ているのか
- 答 今のところ来ていない。

## 3月議会中の3月14日に各委員会を開催



## 一問一答方式の採用



片品村議会では、「一般質問」が、従来の一括質問と答弁を行う方式から一問一答方式に変更され、3月定例議会から導入された。議会活性化の一つであり、位置関係は「質問席」と「答弁席」が対面する形で設けられている。

## ～議会傍聴で思うこと～

3月8日に議会傍聴をさせて頂き、小学校の統廃合問題や給食食材の放射線対策等の一般質問に対して片品村ではいち早く放射線測定器を導入し、食材の安全確保が出来ていると聞き、大変嬉しく思います。今後も放射線対策に努めて頂きますよう、お願い致します。

また小学校の統廃合問題については、明確な回答が得られませんが、今後、とくに保護者の方々の意見を尊重して頂き、子供たちにとってより良い方向に向かってゆくことを期待します。



萩原 深雪さん  
(43歳、戸倉)



大島 ゆき子さん  
(36歳、須賀川)

私は初めて議会を傍聴したのですが、私以外にも若い世代のお母さんたちが参加していて、ホッとしました。今回、傍聴させていただいた理由は、小中学校の統廃合・スクールバス運行について、放射能汚染・食品検査の問題について、興味があったからです。

その質問内容はとても分かりやすく、初めての私にも良い質問だと感じましたが、質問に対する答えたのがマニュアル通りで、少々的是ずれのように思え残念でした。

もっと具体的な答えを期待していたので、今後そのような討論になるのであればもっと興味をもつ人が増えるのではと思いました。

とはいえ、幼い子供をもつ一人の親として、これらの議題が話し合われることに期待しておりますし、機会があればまた傍聴したいと考えています。そしてより良い村づくりのため、たくさんの方のことを話し合っ頂きたいと思っています。



かたしなの教育活動発表会



銚子小学校との冬季交歓会受入式



群馬県町村議会での片品事例発表



片品保育所の卒園式



片品小学校の卒業式



丸沼スキー場での視察・研修



「原発事故放射線量」講演会



片品中学校の入学式



片品小学校の入学式



片品保育所の入園式

発行 片品村議会 責任者 高橋 正治 編集 議会だより編集委員会



議会事務局職員が交代しました。「お疲れさま、星野照子さん。宜しくお願い致します、金子小百合さん」

3カ月間の主な活動記録

6月議会を傍聴しよう！

次回定例会は、6月上旬の予定です。一般質問は、開会初日です。なお、一般質問の質疑応答の全文は片品村公式ホームページにて閲覧できます。URL：http://www.vill.katashina.gunma.jp/

3月議会で議会広報編集特別委員会の設置が承認されたこと、私たちが議会報記者ならびに編集者の役割がより明確になった感じがあります。採用された全12条からなる規定は、私たちの責任意識を高めるものとなりそうです。今後、主立った催しには議員カメラマンが出掛けますので、もう一つの議員の姿として暖かく対応して頂けると、ありがたいです。議員は全員が任期中、委員会の役割を担うように工夫がなされていきます。

(議会だより編集委員長 戸丸廣安記)

編集後記

議会活動日誌

- 1月 25日 冬季交歓会受入れ式 27日 議会全員協議会
2月 15日 片品村の下水道、学校給食センター、観光施設事業、国保、介護の各委員会 16日 かたしなの特色ある教育活動交流会 17日 尾瀬クリーンセンター議会定例会 20日 議員スキー場視察・研修 24日 議会運営委員会、議会全員協議会
3月 8日 3月議会定例会開催 9日 予算説明会 13日 片品中学校卒業式 14日 総務文教・観光産業常任委員会 16日 3月議会定例会閉会 21日 議会と区長との懇談会 23日 各小学校卒業式 26日 社会福祉協議会理事会・評議会 29日 尾瀬文学賞実行委員会総会
4月 5日 区長・区長代理・組長会議 9日 各小学校入学式、片品中学校入学式 24日 「原発事故放射線量」講演会

印刷所 笠原印刷(有)